

## 平成 17 年度日本コンクリート工学協会北海道支部功績賞の表彰

平成 18 年 5 月 16 日に行われた北海道支部総会の会場で、表彰式が行われ次の 5 名が表彰されました。初めに、功績賞選考委員会委員長の田畑雅幸氏からそれぞれの方の功績内容について紹介があり、引き続き佐伯昇支部長から一人一人に表彰楯が授与されました。その後行われた懇親会の席で、受賞者全員からご挨拶をいただきました。受賞者と受賞理由は次の通りです。

### 記

上田 滋美 殿 (74 歳) 元ドーピー建設工業(株)

北海道のコンクリート橋の設計・施工並びに技術指導を行い、若手技術者の育成に尽力された。また、JCI 支部創立 10 周年に発行した「北海道におけるコンクリートの歴史」編纂に寄与された。

尾崎 昶 殿 (72 歳) (株)イーエス総合研究所顧問、室蘭工大名誉教授

室蘭工業大学において 40 年間教育・研究を行い、コンクリートの特性研究でコンクリート構造物の耐久性向上技術に尽力された。JCI 北海道支部では、会計監査(平成 16 年度～現在)を務め支部運営に寄与されている。

井野 智 殿 (69 歳) 北海道情報大学学長、北海道大学名誉教授

北海道大学において 33 年間教育・研究を行い、建築物の床スラブのたわみ問題を始めとする応力変形挙動の研究でコンクリート構造物の耐久性向上技術に尽力された。JCI 北海道支部では、平成 10～11 年度の支部長および平成 13～17 年度の会計監査を務め、支部運営に寄与された。

藤井 不二也 殿 (69 歳) 元(株)ドーコン

PC 斜張橋のミュンヘン大橋を始め、北海道のコンクリート構造物の向上技術に寄与された。また、「北海道のコンクリート橋」の写真集の編纂に寄与された。

太田 利隆 殿 (68 歳) 元北海道開発局開発土木研究所所長

寒冷地におけるコンクリート構造物の耐久性向上技術、特に塩害・凍害対策に尽力された。JCI 北海道支部では、平成 8～9 年度の支部長を始め、支部運営に寄与された。また、支部創立 10 周年に発行した「北海道におけるコンクリートの歴史」編纂において、研究委員会委員長を務められた。

